

# 2017年3月期 第1四半期決算説明会



**スズキ株式会社**  
2016.8.3

**当社の四輪車の排出ガス・燃費試験業務について、国が定める規定と異なる不正な取扱いがあり、ご迷惑とご心配をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。**

**再発防止対策を着実に実行してまいりますとともに、各種業務におけるコンプライアンスの徹底やリスク管理体制の強化等に取り組んでまいります。**

- **四輪世界販売 … 675千台、前年同期比▲12千台**
  - ・日本の登録車（+12千台）、欧州（+8千台）、インド（+17千台）で増加したものの、軽自動車（▲16千台）、中国、インドネシア等で減少
- **二輪世界販売 … 332千台、前年同期比▲76千台**
  - ・中国、インドネシアをはじめ各地域で減少
- **第1四半期実績 … 減収、営業利益・純利益※増益**
  - ・売上高 7,540億円、前年同期比▲ 2.4%、5期振り減収
  - ・営業利益 592億円、" + 7.2%、5期連続増益
  - ・経常利益 613億円、" ▲ 1.7%、5期振り減益
  - ・純利益※ 380億円、" + 19.7%、2期振り増益
- **業績予想 … 業績・台数予想とも、5月10日公表を据置き**

※ 純利益は親会社株主に帰属する四半期純利益

## ・減収、営業利益増益

(億円)

	当第1四半期 (’16/4-6)	前年同期 (’15/4-6)	増 減	
				増減率
売上高	7,540	7,729	▲189	▲2.4%
国内売上	2,500	2,473	+27	+1.1%
自 社	2,280	2,220	+60	+2.7%
OEM	220	253	▲33	▲12.8%
海外売上	5,040	5,256	▲216	▲4.1%
営業利益 (利益率)	592 (7.8%)	552 (7.1%)	+40	+7.2%
経常利益 (利益率)	613 (8.1%)	623 (8.1%)	▲10	▲1.7%
親会社株主に帰属 する四半期純利益 (利益率)	380 (5.0%)	317 (4.1%)	+63	+19.7%

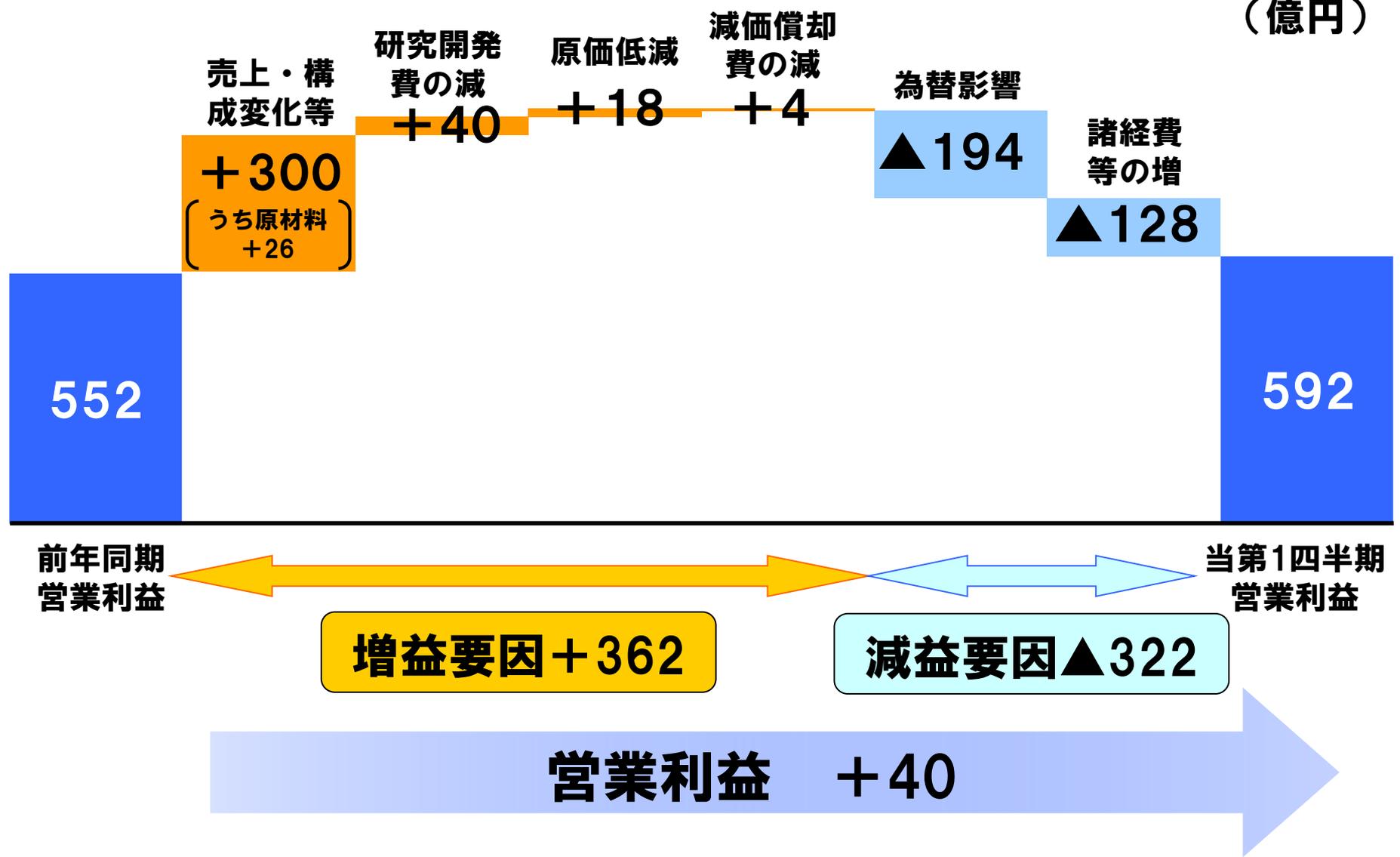
(億円)

内、為替  
換算影響

	四 輪			二 輪			特機等			合 計			
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	
国内計	2,413	2,379	+34	50	50	▲0	37	44	▲7	2,500	2,473	+27	
自 社	2,193	2,126	+67	50	50	▲0	37	44	▲7	2,280	2,220	+60	
OEM	220	253	▲33							220	253	▲33	
海外計	4,431	4,540	▲109	457	559	▲102	152	157	▲5	5,040	5,256	▲216	▲783
欧 州	979	826	+153	123	142	▲19	45	47	▲2	1,147	1,015	+132	▲134
北 米	6	12	▲6	59	87	▲28	74	77	▲3	139	176	▲37	▲18
アジア	2,916	3,125	▲209	196	231	▲35	12	11	+1	3,124	3,367	▲243	▲542
その他	530	577	▲47	79	99	▲20	21	22	▲1	630	698	▲68	▲89
総合計	6,844	6,919	▲75	507	609	▲102	189	201	▲12	7,540	7,729	▲189	▲783
内、為替 換算影響			▲696			▲72			▲15			▲783	

※当期・・・2016年4～6月期、前期・・・2015年4～6月期

(億円)



	当第1四半期 (’16/4-6)	前 期 (’15/4-6)	増 減	営業利益 為替影響
米ドル	108円	121円	▲13円	▲13億円
ユーロ	122円	134円	▲12円	▲32億円
インドルピー	1.63円	1.93円	▲0.30円	▲81億円
インドネシアルピア (100ルピア当り)	0.81円	0.93円	▲0.12円	▲8億円
タイバーツ	3.06円	3.66円	▲0.60円	+15億円
その他	—	—	—	▲75億円
計				▲194億円

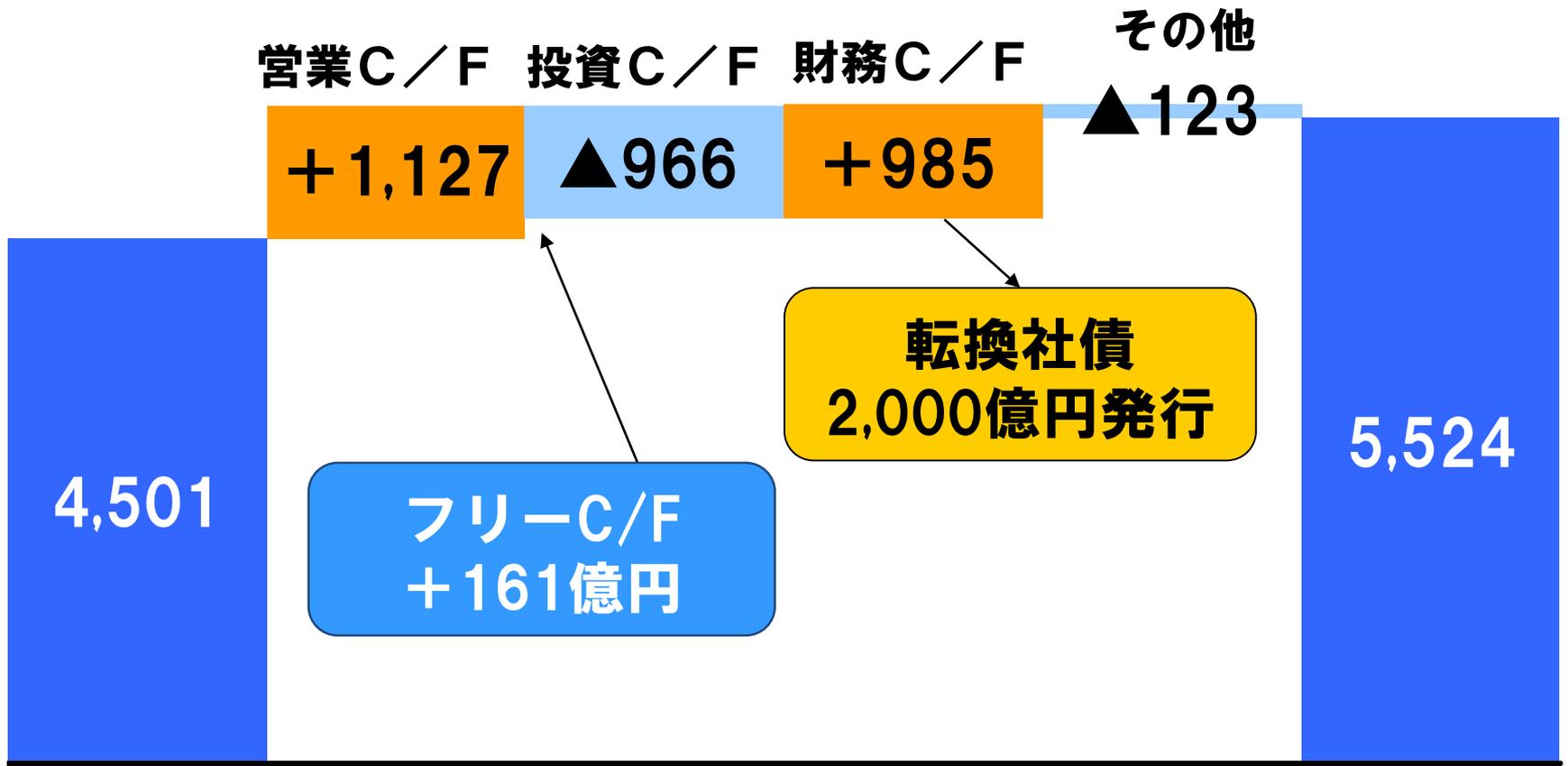
# 連結：設備投資、減価償却費、 研究開発費、及び有利子負債残高

(億円)

	当第1四半期 ( '16/4-6 )	前 期 ( '15/4-6 )	増 減
(当社単独)	145	120	+25
(子会社)	249	217	+32
設備投資	394	337	+57
減価償却費	372	376	▲4
研究開発費	276	316	▲40

	当第1四半期末 ( '16/6末 )	前年同期末		前期末	
		( '15/6末 )	増 減	( '16/3末 )	増 減
有利子負債残高	6,320	4,712	+1,608	5,293	+1,027

(億円)



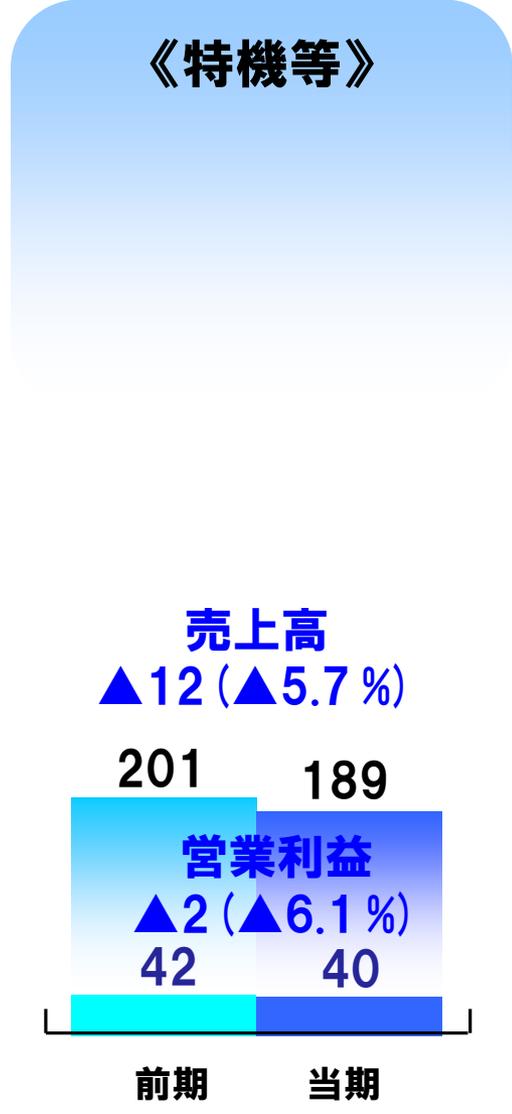
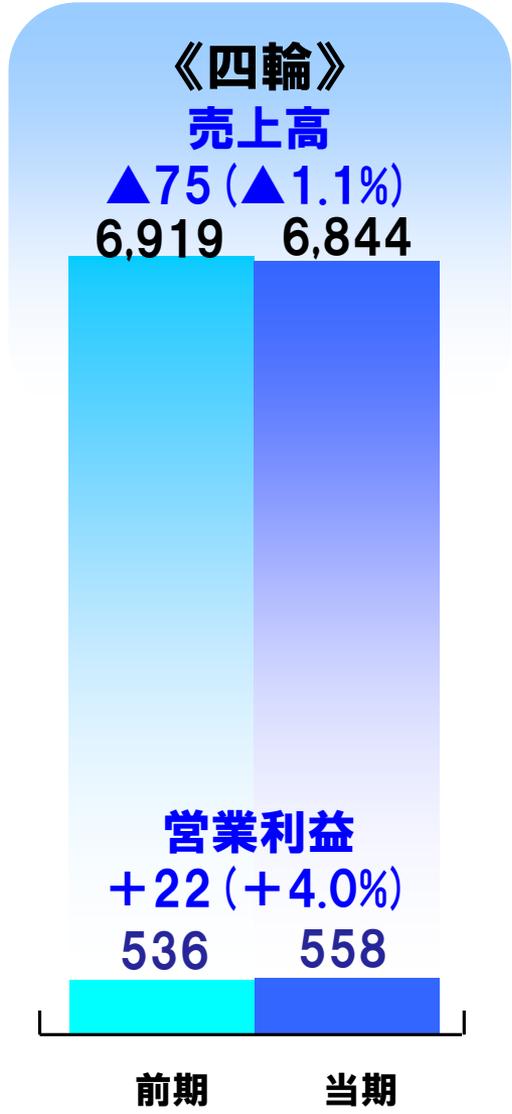
期首残高

キャッシュ残高 +1,023

当第1四半  
期末残高

# 連結：事業別業績 (売上高・営業利益)

(億円)

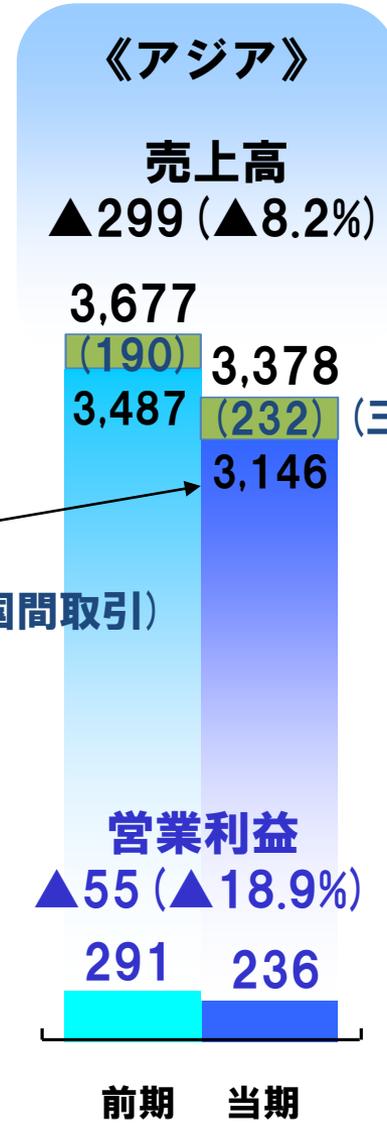
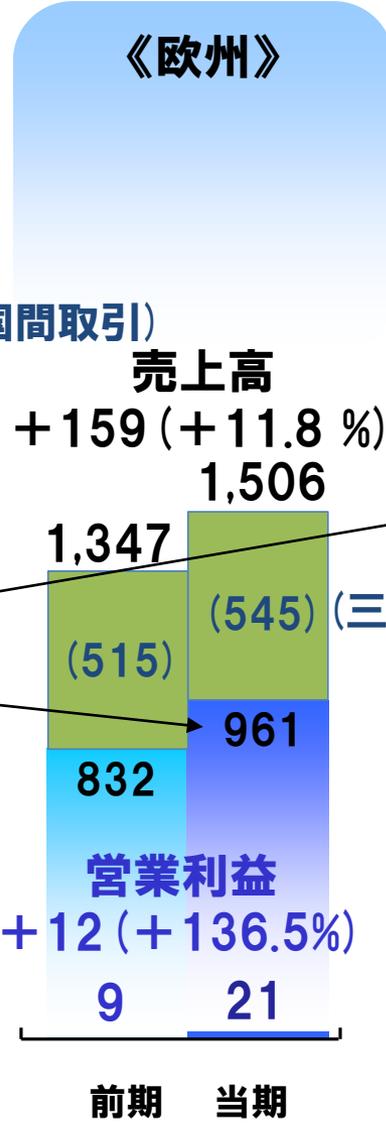
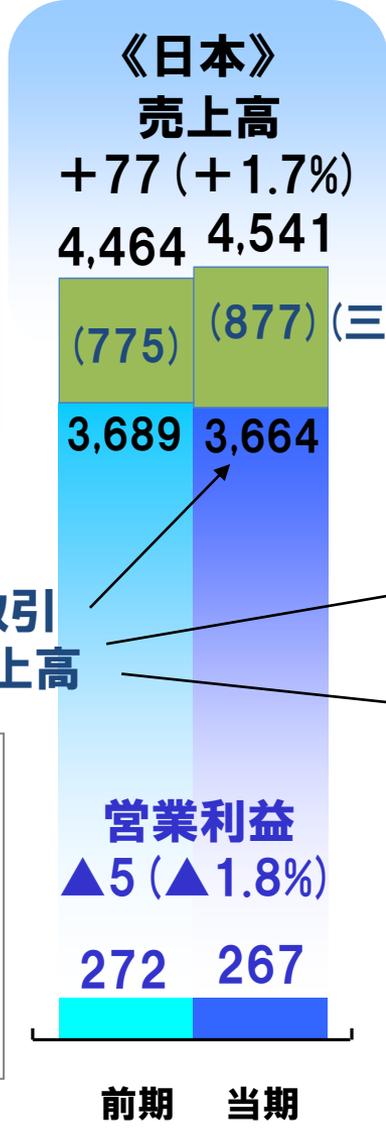
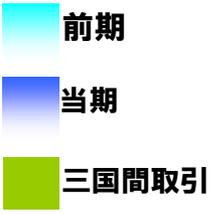


※当期・・・2016年4～6月期、前期・・・2015年4～6月期

# 連結：所在地別業績 (売上高・営業利益)

(億円)

売上高



三国間取引  
を除く売上高

営業利益



※当期・・・2016年4月～6月期、前期・・・2015年4月～6月期

	当第1四半期末	前年同期末		前期末	
	('16/6末)	('15/6末)	増減	('16/3末)	増減
連結 子会社数	136社	133社	+3社	136社	±0社
持分法適用 関連会社数	33社	35社	▲2社	33社	±0社
従業員数	62,764人	58,466人	+4,298人	61,601人	+1,163人

・5月10日公表から変更なし

(億円)

	通期予想			上期予想
	通期予想	前期実績	増減	
売上高	31,000	31,807	▲807	15,000
営業利益 (利益率)	1,800 (5.8%)	1,953 (6.1%)	▲153	900 (6.0%)
経常利益 (利益率)	1,850 (6.0%)	2,091 (6.6%)	▲241	925 (6.2%)
当期純利益* (利益率)	930 (3.0%)	1,167 (3.7%)	▲237	465 (3.1%)
設備投資	2,200	1,715	+485	
減価償却費	1,700	1,683	+17	
研究開発費	1,400	1,310	+90	

※親会社株主に帰属する  
当期（四半期）純利益

## 《通期営業利益 増減要因》

### 増益要因

売上・構成変化等	+547
原価低減	+290
増益要因 計	+837

### 減益要因

為替影響	▲620
諸経費等の増	▲260
研究開発費の増	▲90
減価償却費の増	▲20
減益要因 計	▲990

# 連結：業績予想 (為替レート前提)

・5月10日公表から変更なし

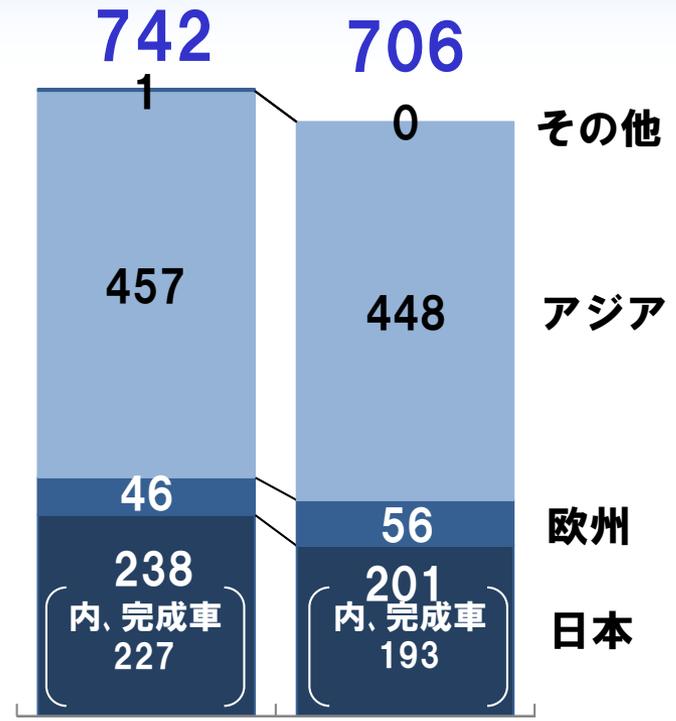
	通期予想			営業利益 為替影響
	通期予想	前期実績	増減	
米ドル	105円	120円	▲15円	▲72億円
ユーロ	120円	133円	▲13円	▲134億円
インドルピー	1.60円	1.85円	▲0.25円	▲266億円
インドネシアルピア※	0.80円	0.89円	▲0.09円	▲26億円
タイバーツ	3.00円	3.44円	▲0.44円	+43億円
		その他通貨		▲165億円
		為替影響額 計		▲620億円

※インドネシアルピアは100ルピア当りのレート

(千台)

## 《第1四半期比較 生産台数》

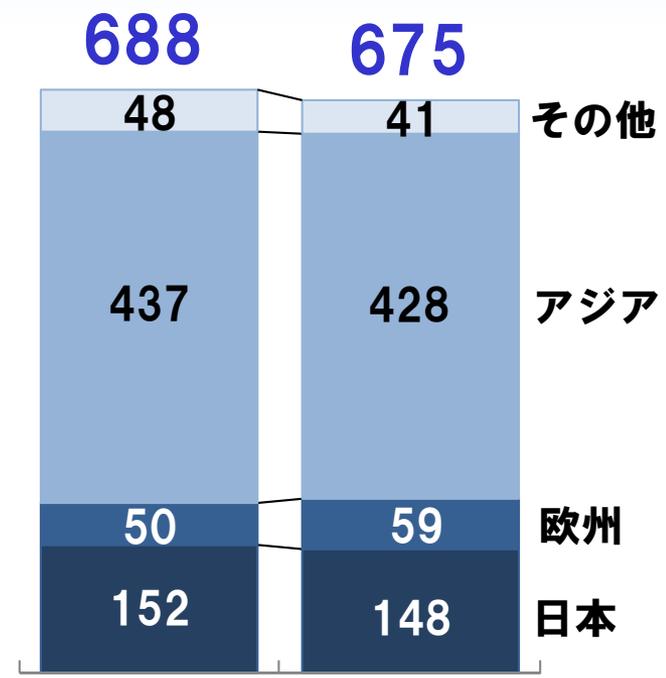
▲36千台(▲4.9%)



前年同期 '15/4-6      当第1四半期 '16/4-6

## 《第1四半期比較 販売台数》

▲12千台(▲1.8%)

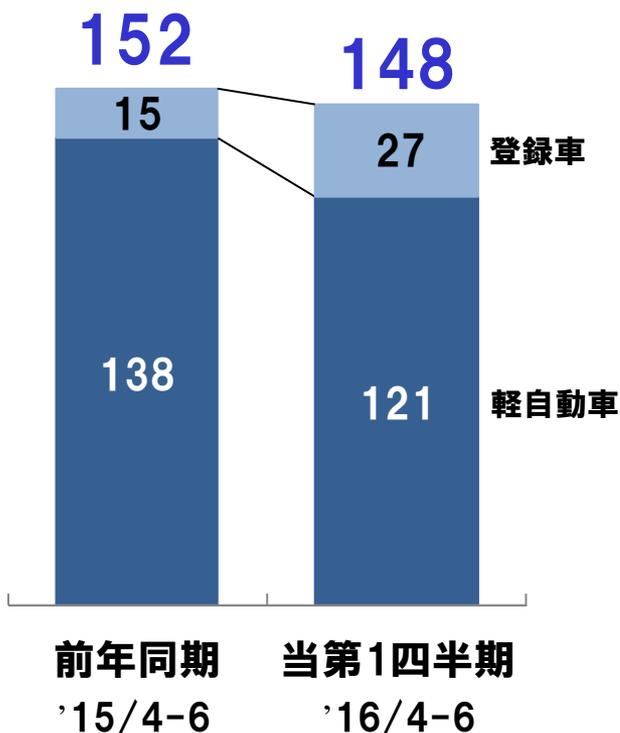


前年同期 '15/4-6      当第1四半期 '16/4-6

## 《第1四半期比較》

▲4千台(▲2.9%)

(千台)



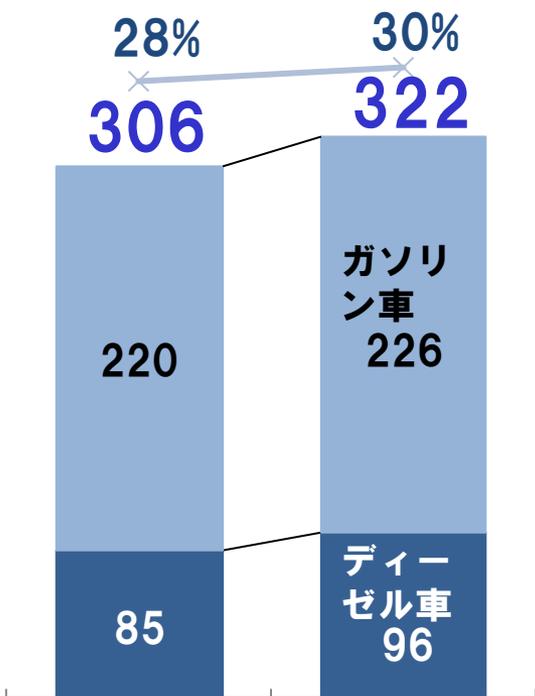
- 軽自動車は前年同期比▲11.9%と減少
- 登録車は昨年度投入した新型車の販売貢献により、前年同期比+80.0%と大幅伸長

- 2015年 8月 ソリオ、ソリオバンディット
- 2015年10月 エスクード
- 2016年 2月 イグニス
- 2016年 3月 バレーノ
- 2016年 5月 " (ブースタージェット)



《第1四半期比較》  
 +17千台(+5.4%)  
 (千台)

ディーゼル車割合



前年同期  
'15/4-6

当第1四半期  
'16/4-6

- ・ 6月は仕入先火災の影響により26ヵ月振りに前年割れ
- ・ 但し、第1四半期累計では、バレーノ、エスクロス、ピターラ・ブレッツアなどの新型車の販売貢献により、前年同期比+5.4%と増加
- ・ 新販売網「ネクサ」が1周年、累計販売10万台達成 94都市、150拠点に展開、今期中に250拠点を目指す



- ・ シアズが6月で14年10月発売以来、1年8ヵ月で累計販売10万台を達成



- ・ 7月に小型トラック「スーパーキャリイ」を発売し、インド小型商用車セグメントに初参入
- ・ 当初は販売地域をインドの3都市（ルディアナ、アーメダーバード、コルカタ）に限定

## （特徴）

- ・ 2気筒800ccディーゼルエンジン
- ・ 広い荷台と取り回ししやすく安定性に優れた車体
- ・ 長距離運転でも快適な広い室内



- ・ 2015年度インド商用車市場は約70万台の規模
- ・ MUV※のラインアップに加え、商用車セグメントにも商品を投入し、インドのお客様の需要に応えていく
- ・ グルガオン工場生産

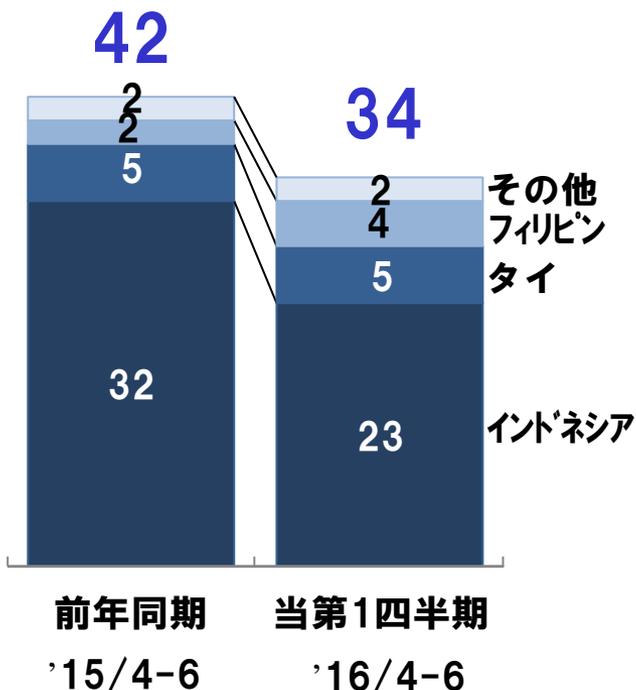
※Multi Utility Vehicle=多目的車

## 《第1四半期比較》

▲8千台(▲19.4%)

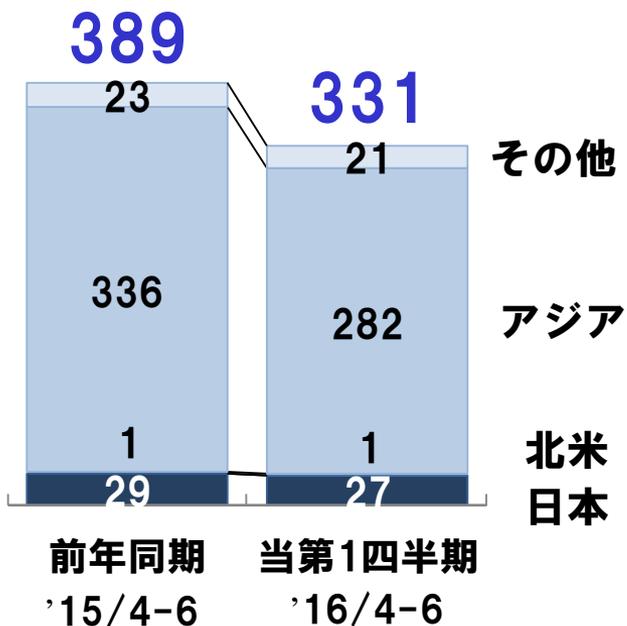
(千台)

- ・インドネシアは商用車の落込みにより販売減
- ・タイはスイフト、セレリオの販売が減少したものの、シアズの販売貢献により前年同期並み
- ・フィリピンはセレリオ、エルティガ等の販売増により、前年同期比+42.7%と伸長
- ・マレーシアはプロトン社との協業（スズキモデルのKD部品をプロトン社に供給）に伴い、スズキブランドでの四輪販売終了



## 《生産台数》

▲58千台(▲14.9%)



## 《販売台数》

▲76千台 (▲18.6%)

(千台)



## SV650

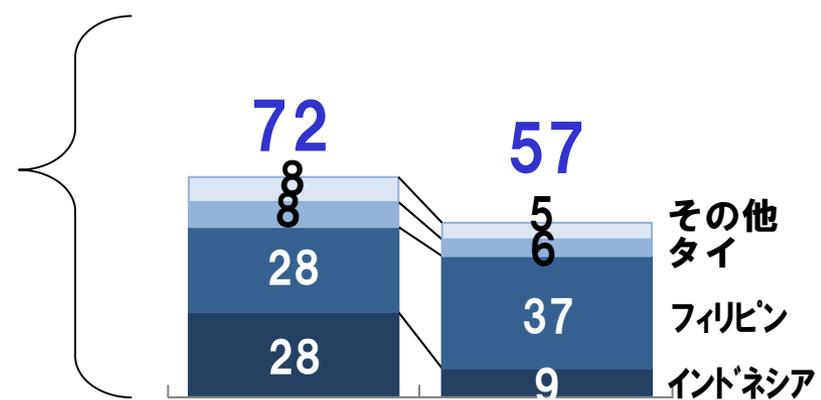
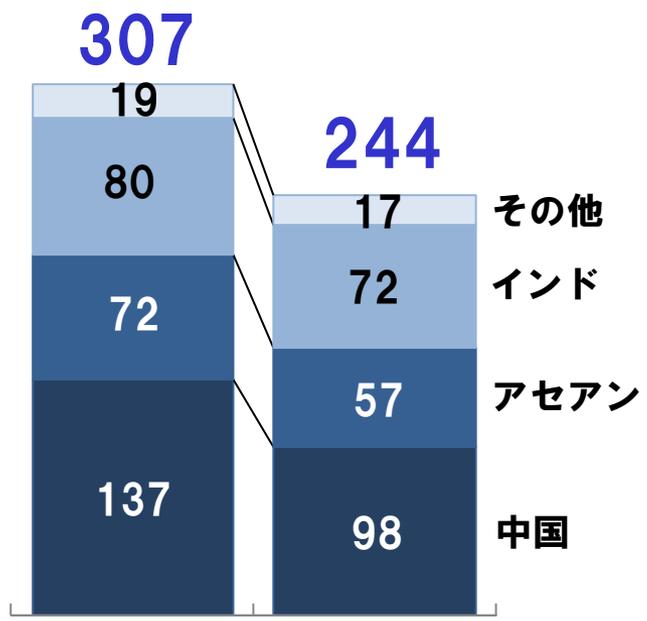
- ・ V型2気筒エンジン搭載
- ・ 軽量コンパクトなロードスポーツバイク
- ・ 本年より、海外向けに輸出開始
- ・ 日本でも8月11日より、発売開始



（千台）

《第1四半期比較》  
▲63千台(▲20.5%)

《アセアンの内訳》  
▲15千台(▲21.0%)



前年同期 '15/4-6    当第1四半期 '16/4-6

前年同期 '15/4-6    当第1四半期 '16/4-6

※アセアン：インドネシア、マレーシア、タイ、フィリピン、ベトナム 5ヶ国合計

・5月10日公表から変更なし

(千台)

	通期生産台数			
	予想	前期実績		
	(16年度)	(15年度)	増減	増減率

	通期販売台数			
	予想	前期実績		
	(16年度)	(15年度)	増減	増減率

## <四輪車>

日本	911	861	+50	+5.8%
欧州	191	193	▲2	▲0.9%
アジア	2,047	1,896	+151	+8.0%
その他	2	2	+0	+0.1%
合計	3,151	2,951	+200	+6.8%

日本	650	630	+20	+3.2%
欧州	232	207	+25	+12.2%
アジア	1,888	1,842	+46	+2.5%
その他	186	183	+3	+1.8%
合計	2,956	2,861	+95	+3.3%

## <二輪車>

日本	133	122	+11	+8.8%
欧州	—	—	—	—
北米	6	4	+2	+35.2%
アジア	1,241	1,279	▲38	▲3.0%
その他	66	74	▲8	▲10.6%
合計	1,446	1,480	▲34	▲2.3%

日本	65	61	+4	+6.5%
欧州	50	48	+2	+4.5%
北米	47	46	+1	+3.3%
アジア	1,150	1,126	+24	+2.1%
その他	190	216	▲26	▲11.9%
合計	1,502	1,496	+6	+0.4%

# 2017年3月期 第1四半期決算説明会



# スズキ株式会社

## 将来予想に関する注意事項

- ※このプレゼンテーション資料に記載した将来予想は、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき当社が判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
- ※実際には、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。
- ※実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動(主に米ドル／円相場、ユーロ／円相場、インドルピー／円相場)などが含まれます。